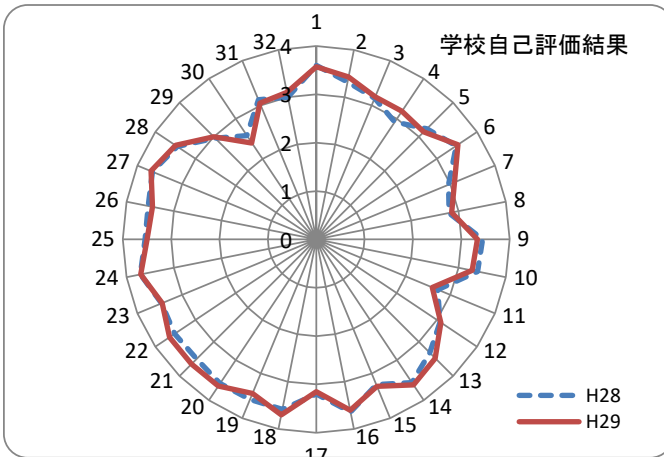




今年度をふり返って～自己評価の結果から



今年度の教育活動をふり返り、全教職員によって行った自己評価の結果をお知らせします。

- 4 できている
- 3 どちらかと言えばできている
- 2 どちらかと言えばできていない
- 1 できていない

とし、各項目の合計点数を教職員の数で割った値でグラフ化したものが左図です。

この結果やPTA役員の皆さんや児童のアンケート結果をもとに学校評価委員会において、ご意見を頂戴しました。

学校評価委員会の結果は後日報告いたします。

<input type="checkbox"/> 教育目標について (1)教育目標が児童や家庭地域の実態に即したもになっているか。 (2)教育目標は、学年・学級の経営に具現化され、実践されているか。	評価(昨年) 3.6(3.6) 3.4(3.3)
<input type="checkbox"/> めざす児童像「みんな元気で、なかまを思いやり、みずから学ぶ子」の具現化に向けて、学年・学級目標を設定し、経営に生かしている。現在の児童の実態に適していると認識している。 <input type="checkbox"/> 今年度も重点目標を設定して取組を進めることで、一定の成果が得られた。	
<input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣について (3)あいさつがしっかりできる子どもに育てているか。 (4)きまりを守り、自律的な学校生活が送れているか。 (5)規則正しい生活のリズムが身についているか。	評価(昨年) 3.2(3.2) 3.2(2.9) 3.1(3.2)
<input type="checkbox"/> あいさつは重点目標の一つとして位置づけ、継続的に指導できた。児童の意識も向上している。 <input type="checkbox"/> 地域のあいさつタウン・南の取組に合わせて、毎月第1火曜日に実行委員会が中心となってあいさつ運動に取り組み、意識を高めることができた。活動が定着してきている。 <input type="checkbox"/> 「早寝、早起き、朝ご飯」の指導を継続して行っており、朝ご飯はほとんどの児童が食べて来ている。一部、チャイムを守って生活できにくい児童がおり、職員全体で対応している。	
<input type="checkbox"/> 児童の主体的な活動について (6)児童活動・清掃活動・委員会活動などで協力できているか。	評価(昨年) 3.5(3.5)
<input type="checkbox"/> 6年生がリーダーシップを発揮し、縦割り活動や委員会活動で、その役割をしっかりと果たせた。 <input type="checkbox"/> のびのび活動で、縦割り集団での人間関係づくりが定着してきている。高学年の主体性が育ってきている。 <input type="checkbox"/> 清掃活動では、全体で指導のポイントを共通理解して取組が定着してきており、成果が見られた。	
<input type="checkbox"/> 学習活動について (7)基礎基本の知識、技能が身についているか。 (8)コミュニケーション能力の高い子どもに育てているか。 (9)落ち着いた態度で、学習に取り組んでいるか。 (10)地域の特色を生かした学習活動を取り入れることができたか。 (11)外国語活動を主体的に推進することができたか。 (12)学習の習慣化を図り、自ら学習に取り組めるようになったか。 (13)読書が好きで、進んで読書をしているか。 (14)校内授業研究を通して、互いの授業力を高め合うことができたか。	評価(昨年) 3.1(3.0) 2.9(2.8) 3.3(3.4) 3.3(3.4) 2.6(2.7) 3.1(3.1) 3.5(3.3) 3.6(3.6)
<input type="checkbox"/> 全般に落ち着いた学習に取り組む、学力調査でも県・国平均以上の学力を身につけている。 <input type="checkbox"/> 学力調査から、コミュニケーション力が課題であることから、授業や活動で話し合いや発表を取り入れた取組を増やすなどして、自分の考えを交流する機会の確保に努めている。 <input type="checkbox"/> 学校司書を中心に図書室の本の配置や管理を工夫したことで、児童にも分かりやすく利用が増えた。また学校司書やボランティアの読み聞かせやキャラクター投票などで図書室に対する興味関心が高まった。学年が上がるにつれて、読書離れの傾向が見られるが、徐々に改善の傾向が見られる。 <input type="checkbox"/> 英語活動は、授業時間増からALT中心の授業から学級担任中心の授業への移行が課題である。	

<input type="checkbox"/> 心育てる取組について (15)人との関わりを大切にしている心、思いやりの心が育っているか。 (16)異年齢集団や地域の人と交流する場を設け、豊かな人間性を育てようとしているか。 (17)道徳をはじめ各教科等で命の大切さ、望ましい人間関係、規範意識について計画的に指導しているか。	評価(昨年) 3.3(3.3) 3.6(3.6) 3.2(3.2)
○深刻ないじめ事案はなかったが、気になる事案はどの学年にもあり、継続的な見守りが必要である。 スマホ・PCに関連するトラブルがあり、講師による指導などを継続していく必要がある。 ○1,2,3年生は、年に1回ずつ老人会の皆さんと交流をもつことができ、内容も充実してきている。 ○次年度より始まる特別な教科道徳を計画的に実施し、課題である豊かな人間性の育成を充実していく必要がある。	
<input type="checkbox"/> 児童理解について (18)配慮を要する児童について、全職員が情報交換し、協力して支援に当たっているか。	評価(昨年) 3.7(3.6)
○年2回の定期的な研修に加え、随時配慮の必要な児童について、共通理解する場を設けている。 ○まず学年の中で情報交換を密にして、課題に対して、早期発見・早期対応に努めると同時に「報告・連絡・相談」を組織的に取り組んだ。校内ケース会議や必要に応じて外部機関との連携も積極的に行った。	
<input type="checkbox"/> 体力向上について (19)特別活動等で、体力、運動能力を高める取組ができたか。 (20)教科体育で運動の好きな子どもを育てることができたか。	評価(昨年) 3.5(3.6) 3.7(3.6)
○GnP(ぐんぐんのびろプロジェクト)を校務分掌に位置づけ、見直しをもって、継続的に取り組める体制づくりができてきた。大縄飛びや的当てなど校内のイベントも充実し、児童の意欲付けも行った。 ○「南小ギネス」にも多くの児童が参加し、楽しみながら、体力づくりに取り組む姿が見られた。 ○GnPの働きかけ(さわやか朝会での「今月の動き」)や関西国際大学 中尾繁樹先生の研修によって、体づくりの大切さへの意識が児童にも教職員にも高まりが感じられる。	
<input type="checkbox"/> 特別支援教育について (21)特別支援教育等、個に応じた指導の充実に努めてきたか。 (22)各専門機関と連携し、解決策を見いだそうとしているか。	評価(昨年) 3.7(3.5) 3.7(3.5)
○担当者が特別支援員や学生サポーター等の有効な配置を毎日行い、特別支援学級と通常学級との連携を充実させ、個々に応じたきめ細かい指導が出来た。 ○関西国際大学 中尾繁樹先生や「言葉の教室」高橋順治先生と連携し、研修を継続して行うことで、指導に生かすことが出来た。	
<input type="checkbox"/> 健康安全・危機管理について (23)避難訓練等により、児童に防災の意識・態度が身についているか。 (24)児童の病気・ケガ等の対応が適切に行われているか。 (25)安全点検を実施し、安全な環境整備が出来ているか。 (26)個人情報保護について、全職員が共通理解し、情報の管理・保管を適切に行っているか。	評価(昨年) 3.5(3.5) 3.7(3.7) 3.5(3.5) 3.5(3.5)
○防災に関しては、事前学習に重点をおいた避難訓練を工夫し、児童の意識を高めることが出来た。 今年度は休憩時間での避難訓練を実施することで、実際の場合の対応や配慮について課題が明確になった。 ○年間を通じて遊具の点検を定期的に行い、環境整備を行った。	
<input type="checkbox"/> 保護者・地域との連携について (27)スクールボランティア等地域の教育力を活用しているか。 (28)授業参観・学校行事・学校だより・HP等を通じて、家庭・地域連携を深められているか。	評価(昨年) 3.7(3.7) 3.5(3.5)
○読み聞かせや登下校時の見守り、花作り・環境整備など、様々な面で協力いただき年々充実してきている。 ○参観には毎回多くの保護者の方に参加いただいている。学校だよりやHPも定期的に発信し、開かれた学校づくりに貢献している。	
<input type="checkbox"/> 教育設備・環境、校務分掌について (29)教具・教材などの教育設備、環境が整備されているか。 (30)PC、LAN設備など、ICT環境が整備されているか。 (31)授業等にICTを積極的に活用しているか。 (32)校務分掌が明確化し、よく機能しているか。	評価(昨年) 3.0(3.0) 2.4(2.6) 3.1(3.1) 3.1(3.0)
○ひばり学級の学習にタブレットを活用している。校内LANが改善され、教員がICTを活用する機会が増えた。 ○使用が重なりプロジェクタが不足することがある。大型テレビと合わせて配備を要望していく。 ○職員数が減少し、一人あたりの仕事量が増えてきている。仕事が特定の職員に偏ることがないよう組織的な分担を行い、学校力を高めていくようにする。	